



いちかわみさと

議会だより

第45号

2016年11月1日 発行



総合防災訓練（市川第7区）

平成28年
9月定例会

● 正副議長あいさつ	2
● 平成28年度一般会計補正予算・条例の改正	3
● 平成27年度決算認定	4～5
● 常任委員会報告・組合議会報告	6～7
● 一般質問 6 議員 町政を問う	8～13
● 委員会構成・第1回臨時会・請願	14
● 討論・審議結果	15
● みんなのページ	16

平成28年度 一般会計補正予算

(万円未満は四捨五入)

収入支出の補正額は

補正額 3億1,728万円
総額 92億3,520万円

収入の主な内訳は

地方交付税 1億1,603万円
県支出金 1,782万円
寄付金(ふるさと納税) 50万円
町債(借入金) 3億2,667万円
国庫支出金 △1億4,813万円

主な使いみち

総務費

情報セキュリティポリシー
策定業務委託料 550万円
若者定住促進補助金追加 520万円
ふるさと秋祭り実行委員会補助金 110万円
街灯設置補助金追加 150万円
ふるさと納税特産品贈呈委託料追加 100万円

民生費

新園舎整備予定地土地購入費 1億2,260万円
新園舎建築外構設計業務委託料 2,225万円
新園舎整備予定地造成設計及び
土質調査業務委託料 774万円

衛生費

B型肝炎ワクチン接種委託料 255万円
簡易水道特別会計繰出金追加 149万円

教育費

市川小学校プール改修工事
設計管理業務委託料 167万円

農林水産業費

町単農道水路改修工事費追加 1,980万円
やまなし農業・農村総合支援
事業費補助金 1,000万円
鳥獣害侵入防止柵設置工事費追加 650万円

商工費

特産品事業拡大及び
雇用促進事業補助金追加 137万円

土木費

町内河川・水路維持改善改修工事費 900万円
空き家等実態調査業務委託料 750万円

消防施設費

非常備消防費 57万円
消防施設費 37万円

条例の改正

投票管理者等の報酬及び費用弁償条例中改正

平成28年6月19日の「公職選挙法の一部を改正する法律」施行に伴う改正。
選挙投票日当日、自分の投票区の投票所とは別に、駅や商業施設など利便性の高い場所でも投票できる「共通投票所」を市区町村で任意に設置可能となったため、それに携わる者の報酬等について新たに規定するもの。

新正副議長 決まる



議長 有泉 希

このたび、9月定例会において、議長指名推選により、議長に就任させていただくことになりました。
誠に身に余る光栄と感謝致しますと共に、その責任の重大さ自身の引き締まる思いであります。
若輩ではありますが、町民の皆様、議員各位、役場職員のご協力をいただきながら、その職責を果たしてまいれる所存です。
行政・議会・町民が一体となり、「日本一の暮らしやすい町市川三郷町」を目指しているところです。
微力ではありますが、本町発展のために誠心誠意、精一杯努力してまいります。
議会運営につきましては、不偏不党・公正無私の運営に努めてまいれる覚悟であります。
今後、町民の皆様のより一層のご理解と、ご協力をお願い申し上げます。
よろしくお願いいたします。



副議長 笠井 雄一

このたび、第8代副議長の重責を担うことになりました。
これからは、有泉議長の補佐として、公正で円滑な議会運営ができるよう役割を果たすとともに、町民の皆様の期待に応えられるよう一生懸命頑張りたいと思っています。
現在、地方自治においては、行政と議会が切磋琢磨して、自立した自治体経営と地域の実情に応じたまちづくりが求められています。
二元代表制の一翼を担う議会は「行政の監視機能」はもとより、「政策立案機能」の充実に向けて精力的に取り組んでいかねければなりません。
何よりも、開かれた議会を目指しながら、議会の活性化を図ることが町民の幸せにつながると確信しております。
今後、皆様から貴重なご意見をいただき「いいまち市川三郷」をさらに構築していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

平成28年第3回定例会は、9月2日から16日までの15日間にわたり開催されました。
今定例会では、平成27年度決算認定をはじめ、平成28年度一般会計・特別会計補正予算など、10議案、報告2件、認定2件、同意1件、請願1件が提案され、いずれも原案のとおり可決、

認定、同意されました。
また、会期中、正副議長の辞職に伴い選挙がおこなわれ、議長に有泉希氏、副議長に笠井雄一氏が選出され、各常任委員会、議会運営委員会委員も選任されました。



決算認定

町民一人あたりに使われたお金

議会費

5,051円

●議会運営経費など

総務費

76,876円

●交通・防災の安全対策
●広報活動
●庁舎の管理など

民生費

149,708円

●老人福祉
●児童福祉
●障害者福祉など

衛生費

71,672円

●健康予防や子育て支援など

商工費

8,263円

●商工振興など

教育費

61,366円

●小中学校や保育所などの
教育環境の整備
●生涯学習など

公債費

54,842円

●借りたお金を返すための費用

その他

23,004円

●消防
●災害復旧
●諸支出金など

町民一人あたりに
使われたお金

558,699円

町民一人あたりの負担額

106,495円

(町税)
(16,581人 3月末現在)

農林水産業費

22,762円

●農業や林業などの振興と整備

土木費

85,155円

●道路の新設改修
●河川の整備
●町営住宅の管理など

平成27年度 特別会計決算(16会計) 万円未満は四捨五入

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険特別会計	25億7,632万円	24億1,540万円
国保直営診療施設勘定	6,707万円	6,175万円
介護保険特別会計	21億 531万円	20億2,492万円
介護サービス事業	557万円	550万円
訪問看護ステーション	2,888万円	2,779万円
簡易水道特別会計	3億2,462万円	3億1,332万円
公共下水道事業	10億1,229万円	9億8,707万円
農業集落排水事業	2,607万円	2,537万円
戸別浄化槽整備推進事業	787万円	734万円
温泉事業特別会計	1億 53万円	9,928万円
歌舞伎文化公園管理会計	2,525万円	2,190万円
後期高齢者医療特別会計	2億 324万円	2億 323万円
財産区他4会計	847万円	16万円
合 計	64億9,149万円	61億9,303万円

平成27年度決算に基づく
市川三郷町健全化指標

	27年度	早期健全化 比率(%)
実質赤字比率	—	14.41
連結実質赤字比率	—	19.41
実質公債費比率	6.8	25.0
将来負担比率	100.6	350.0

※実質赤字比率、連結実質赤字比率については、
赤字が生じないため「—」で表記

歳入総額 168億6,588万円
歳出総額 154億5,682万円
差引額 14億 906万円

町の家計簿
きびしくチェック!!

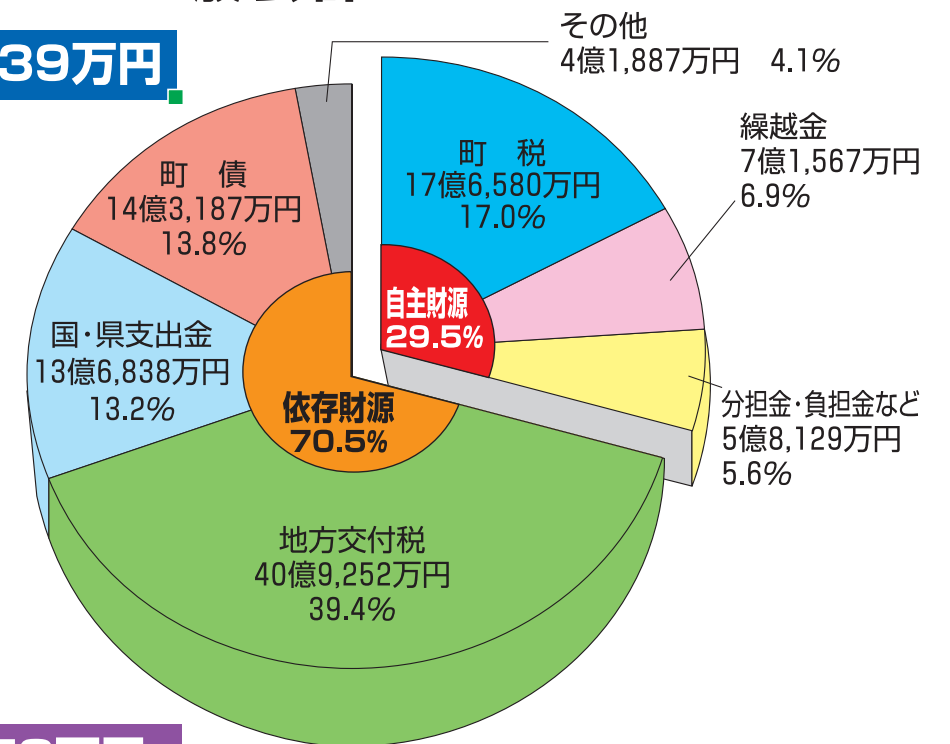
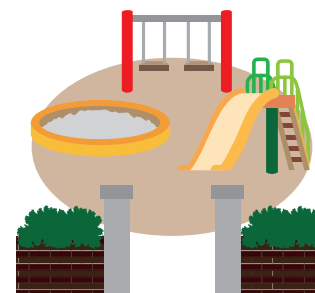
平成27年度決算の主な内容

一般会計の歳出決算は92億6,378万円、特別会計の歳出決算は61億9,303万円で、一般会計・特別会計は154億5,682万円となりました。
歳入決算は168億6,588万円で、14億906万円と歳出決算を上回りました。

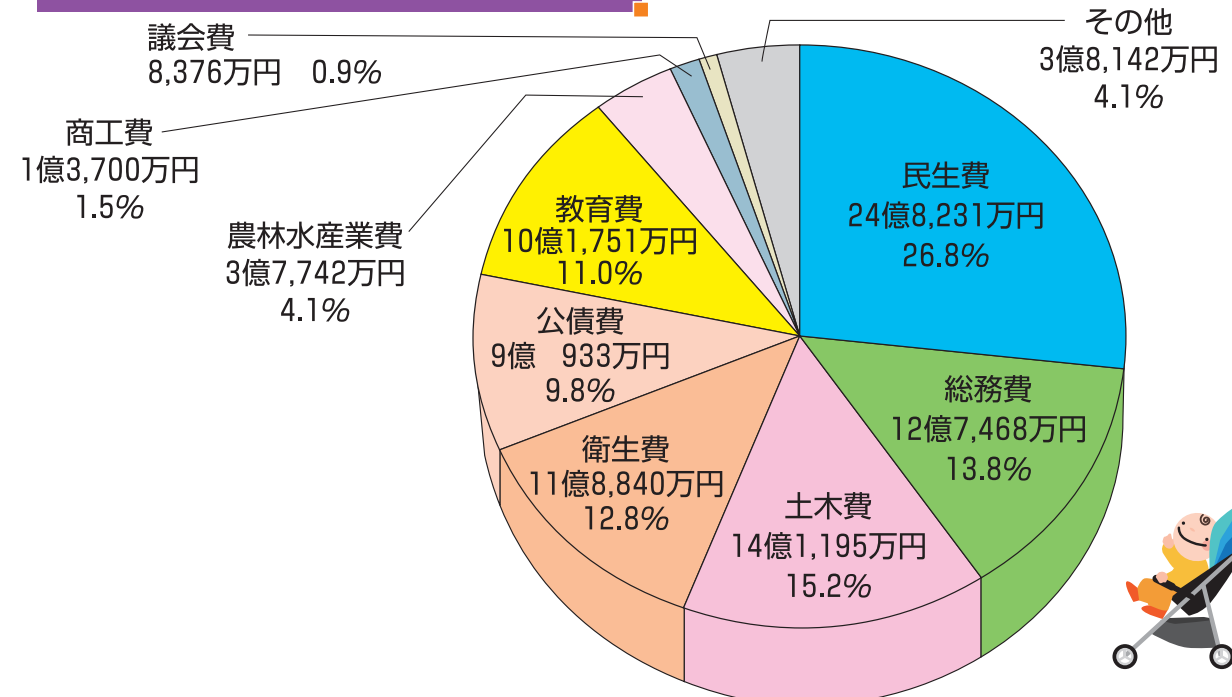
また、町税などの収入未済が課題であります。平成27年度は欠損額が平成26年度と比較して782万円減少しました。
また滞納繰越金は1,839万円ほど納入され、徴収率は、対前年度比0.25ポイント上昇し、93.88%でした。

一般会計

歳入 103億7,439万円



歳出 92億6,378万円





常任委員会 報告

質疑の一部を
要旨のみ掲載します

総務教育

開催日
9/5

問 空家調査の補助金及び対象戸数は。

石原財政課長 国で50%、県で25%合わせて75%補助となり、調査対象戸数は700件予定。

問 やまなし農業・農村総合支援事業費補助金の使用内容は。

財政課長 JA大塚共撰所で出荷果樹を選果する光センサーを更新するための助成金である。

問 市川小学校の体育館は建設以来50年経つが改修計画はあるか。

薬袋教育総務課長 30年度設計、31年度改築を予定している。

問 町の小売店が減少している。高齢者に対して、福祉タクシー券を増やすとかコミュニケーションバスの運行継続の変更の考えは。

一瀬企画防災課長 バス運行は路線の申請経緯を調べて、検討。買い物支援は、商工観光課と情報の共有を行い進めていく。

問 若者定住促進補助の実績は。

企画防災課長 現在までに12件分、896万円（山王地区が2件、その他町内10件）である。



土木環境

開催日
9/12

問 鳥獣害侵入防止柵設置は。

丹沢農林課長 芦久保地区は県の補助金の関係から今年度7割の施工で、残り3割は、来年度以降計画をする。

他に三珠川浦、六郷落居地区からも要望が出ている。

問 猟友会の人数と実績は。

農林課長 旧町単位の3地区で各10人程と思われ、捕獲の実績により謝礼をしている。

昨年の実績は、イノシシ47頭、シカ72頭、カラス121羽、サル1頭であった。

問 若者定住促進分譲予定地の場所と何区画か。

保坂まちづくり推進課長 道林地区6区画、桃林橋団地6、8区画の予定である。

問 空き家対策での本調査の内容は。

まちづくり推進課長 一次調査として、建物の老朽化調査、空き家の所有者の特定、利用実態調査を主に行うものである。

問 鳴沢川高田地区内水対策工事の完成は。

塩沢土木整備課長 今年度、機器の設置工事を発注予定で、平成29年の出水期前に運転を開始。29年度末には全ての工事が完了を予定。

問 「みたまの湯」を町民に幅広く開放する考えは。

林商工観光課長 以前は各家庭に無料入浴券を発行した時期もあったが利用者が少なく、現在は期間を設け町民に無料開放している。

町長 「みたまの湯」建設費の返済は、平成33年度までであるため、町債の返済を優先し、完済後に町民へのサービス拡充を考えていく。

厚生

開催日
9/8

問 富士見、市川保育所を統合した、新園舎開園の予定、規模等は。

窪田保育課長 平成31年度開園を目標とし、園児110名程で、総工事費7億8千万円程で検討している。

問 統合場所の三郡橋近くへの移転について、保護者会や住民の意見は聞いたか。

保育課長 昨年4月に保育所整備検討委員会を立ち上げ、保護者会長には委員に入ってもらっている。今後、保護者会や住民の意見も聞いていく。

問 統合はしなくて、二つの保育所の存続建設の考えはなかったのか。

町長 交通アクセスや、熊本地震の教訓から、二つの保育所の耐震化を考えると早急な建て替えを求められている。両園を考えた場合、面積を含め、一番適地として検討を進めている。



問 B型肝炎ワクチン接種の対象年齢、対象者数は。

内藤いきいき健康課長 0歳のうちに3回しなければ効果がない。対象者は100名を見込んでいる。

問 現在マイナンバーカードの進捗と通知カードの発送状況は。

武田町民課長 8月末現在、申請件数1、092件、内交付済みが718件である。通知カードは全て発送済であるが、届いていない件数が92件となっている。

組合議会の報告

峡南広域行政組合

第2回定例会 7月25日

提出議案は、専決処分承認1件、平成28年度一般会計補正予算1件、売買契約の締結2件で、原案どおり承認、可決されました。

専決処分の承認を求める件は、平成28年度一般会計補正予算（第1号）で、歳入歳出に184万円を追加し、総額を17億1,036万円とするものでありました。

平成28年一般会計補正予算（第2号）は、歳入歳出に411万円を追加し、総額を17億1,447万円とするものであります。

水槽付ポンプ自動車の売買契約締結の件は、中部消防署に新たに水槽付ポンプ自動車を配備するものでした。

高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材の売買契約締結の件は、中部消防署下部分駐所の救急車を高規格救急車に更新するものでした。

（報告 村松武人）

峡南医療センター企業団

第3回臨時会 6月29日

審議された議案は、平成28年度企業団会計補正予算（第1号）1件で、原案のとおり可決されました。

議案は、企業団会計補正予算で、収益的収入及び支出において、病院事業収益を、5千万円減額するもので、構成団体からの負担金を、資本的収入に充てるため、300万円は精査による減額によるものであります。

第2回定例会 8月26日

審議された議案は、平成27年度峡南医療センター企業団会計決算認定1件で、原案のとおり認定されました。

（報告 内田利明）

平和事業を推進させる新しい体制作りは

— 瀬 正 議員 —

——次世代へ平和の尊さをつなげる事業を
中心に実施していく——

問 平和事業を強化・推進させるため、行政と町民が一体化し、新しい体制が必要と考えるが町長の見解を。

町長 日本国憲法の平和理念を堅持し、永久平和のために努力する。核兵器廃絶平和を宣言した。他に誇れる平和事業、「児童生徒の広島平和式典への派遣事業」は続ける。

問 地域防災計画の具体策として、県の合同庁舎が避難場所にならない理由は。

町長 災害時、県の対応窓口として機能が期待されるため現在は避難所としての指定は無い。今後、一時的にでも避難させていただけるか協議・調整を図る。

問 地域の特色を活かした三珠地区の農業を守るための施策は。

町長 農業の担い手策の方策である「青年就農給付金事業」を積極的に進める。町は、県及びJA西八代とともにバックアップし、農業後継者不足の解消に努める。

問 市川地区中央通りの一方通行解除を。

町長 一方通行解除は、実現できる可能性を模索し、再度検証を進めることを検討していく。

問 「つむぎの湯」の料金改定後の利用状況の変化と福祉施設としての位置付けは。

町長 各種サービスの終了が、施設の利用状況に影響を及ぼしている。改善策を講ずる必要があると考える。町民の利益に應えるべく、福祉・健康づくり施設としての有効活用を検討する。

問 軽介護者サービスの縮減が高齢者の重症化を加速するのではと危惧する。直接関わっている身近な行政の役割と考えは。

町長 要支援1・2の方を対象とした、新しい介護予防・日常生活支援事業は、平成30年には完全実施となる。基本チェックリスト実施のみで、現行訪問介護サービスを迅速に利用できるようになる。町は、実状に応じた多様な生活支援サービスの提供ができるよう準備している。



核兵器廃絶 平和宣言の町

学校教育の内容の更なる充実と現状克服を

高尾 貴 議員

——協働して活動を推進していく——

問 本年度より町内の小中学校と市川高校が、文部科学省から指定を受け、英語教育強化拠点事業がはじまった。連携についての考えは。

石原教育委員長 教職員間の合同研究会や中学生と高校生との交流活動行っている。今後は小学生も含めた交流や、協働しての活動を推進していきたい。

問 昨年度の6年生の授業時数が全国の標準時数を超えている学校が7割を上回っていると報告されている。本町でも該当する学校はあるのか。また、英語教育の特殊性から外国語指導助手の配置についての現状は。

石原教育委員長 6校全てが年間標準時数を上回っている。現在6名の外国語指導助手を管内全ての小中学校に配置している。

学校毎には上野小・大塚小・市川東小で1名、市川小に1名、市川南小中で1名、六郷小中で1名、三珠中で1名、市川中で1名となっている。

問 峡南北部3校高校再編に伴う周辺整備はどのように考えているか。町民会館と併設されている図書館、老朽化している市川保育所についての計画は。

町長 県教育委員会より8月10日に開催された地域会議で「設置場所を市川高校の現在地とすること、2020年度の開校を目指す」ことが正式に公表された。現在、県教委からは新設高の施設の配置や必要面積などの提示はないが、県下最大規模となる高校を設置するには手狭となることが予想される。

市川大門町民会館、市川大門町民体育館、市川保育所、職員駐車場など町有地の提供を最大限協力したいと考えている。

町立図書館については現在移設を計画している。市川保育所については、富士見保育所との統合移転を前提に平成31年度の開園を目指している。



市川高校



六郷地区の誘致企業撤退後の対策は

笠井雄一 議員

——新たな企業誘致が可能か検討する——

問 町の活性化等に貢献してきた2社が、年末には完全撤退するが、跡地の有効活用は。

町長 中部横断自動車道六郷インターチェンジの開通を考慮し、新たな企業誘致が可能か検討する。

問 両社の跡地面積は2、800㎡程度を保有し、六郷インターチェンジに隣接した利便性の高い場所と理解するがその対応は。

町長 跡地利用については、雇用が生まれる企業の誘致に努力したい。

問 一時は両社合わせて250人ほどの社員を雇用してきたが、離職者に対して町としての対応は。

町長 企業の経営判断は、町として関与できない。職場を閉鎖することで、離職される全員の再就職先を要請している。

問 定住化につながる企業の誘致をすべきだと考えるが。

町長 他の業種もあるが雇用を生むという意味では製造業であると考え。誘致に努力し取り組んでいきたい。



花伊電線



明興電工



花火大会時のイベント民泊導入を！

丹澤 孝 議員

——観覧席の拡張整備とともに検討する——

問 神明の花火大会は県内でも有数な集客力を持つイベントとして、評価を年々高めており、本町の観光資源となっている。安全に継続開催を続けるため、受入れ環境整備を含め、課題も存在している。来町者の滞留時間を延ばし、観光による地方創生に有効策であるイベント民泊の導入の考えは。

町長 回を重ねるごとに、高評価を得ている。本年度は日曜日開催となり、観覧者は過去最高の23万8,000人と公式発表した。

イベント民泊は、経済効果を考えるなか、有効な方法であり、宿泊者と町民の交流を深めることも可能である。しかし自宅提供者の有無、近隣住民間のトラブル、衛生面、治安面など課題も多い、観覧席の拡張整備とともに検討する。



花火観覧席

問 課題の多い事も承知している。委託業務を行う民間企業があり他の自治体では実績もある。そういう考えは。

林商工観光課長 旅館業法の取り扱いの県の部署、警察、消防署などと連携を取り委託業者の件も含め取り組んでいく。

問 10月のトレイルラン参加者など前日からという人もいる。民泊の用意を希望するが。

商工観光課長 町内の宿泊施設、四尾連湖のキャンプ施設などの予約状況を調査し取り組んでいくが、イベント民泊を受入れる家庭は年一回という決まりもある。



市川公園の防災対策の見直しは

有泉 希 議員

——不測の事態に備えて、日常的点検を実施している——



問 多くの人たちに利用されている公園だが、近くに天井川の印川があり、土砂災害等が発生した場合の被害が非常に心配されるが。

町長 公園は昭和48年に都市公園として、計画、決定されたが、幾度となく災害に見舞れ、改修・変更された。

平成10年以後は、大きな異常は確認されていない。

問 災害の被害を最小限にする、減災の考え方が必要と思うが。

町長 公園の東側から北側にかけての印川については、河川、護岸の整備が進み、国及び県に確認したところ、地すべり地域の異常は見当らないとの見解であるが、受持担当課での日常的な点検を強化している。



市川公園

問 都市計画公園(市川公園)が当初の計画より小さくなった原因は、昔からあの地帯を“みそつぼ”(表面は硬いが、中は柔らかいこと)と言われていた調査の結果が判明したためである。

町長 町独自の点検では限界を感じるため、県、国への要請を希望する。

問 ハザードマップの中にこの地域が指定から外れているが、地形、傾斜、勾配等を思うと土砂災害区域指定が必要と思うが。

一瀬企画防災課長 土砂災害の発生に備えて、気象庁や県の警戒情報システムが整備されているため、地域住民に伝え、減災に努める。

「乳がん自己検診グローブ」の無料配布を

宮崎博巳 議員

——効果が期待できるものであり、検討していく——

問 乳がんは女性のがん死亡率第1位であるが、早期発見による治癒率は約90%と言われており、早期発見が大切である。

対象年齢、周知方法、費用等の課題について検討していく。

町長 厚生労働省の認可を受けた「介護支援ボランティア」という有償ボランティア制度がある。

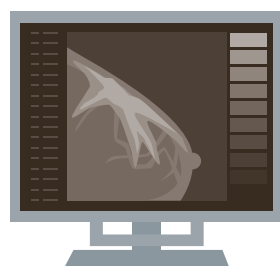
町長 当制度の趣旨・目的は、本町が目指す地域包括ケアシステム構築の方向性と合致するものであり、重要施策の一つとして運用条件等精査し検討していく。

町長 平成25年度の山梨県の乳がん受診率は48・6%で、全国1位である。本町の受診率は47・5%である。

乳がん自己検診グローブは、自己検診として早期発見・早期治療および受診の動機づけなどの一定の効果が期待できる。

※乳がん自己検診グローブ

乳がんの自己検診に役立つ手袋であり、薄いフィルムの3層構造で手にはめると指先の感覚が鋭くなり、乳房の小さなしこりなど分かりやすくなるというもの。



新委員会構成

総務教育 常任委員会

委員長
市川 朝嗣

副委員長
高尾 貫

委員
宮崎 博巳
松野 清貴
内藤 優
秋山 詔樹

厚生 常任委員会

委員長
川崎 充朗

副委員長
小川 好一

委員
有泉 希
三神 貞雄
一瀬 正

土木環境 常任委員会

委員長
内田 利明

副委員長
丹澤 孝

委員
佐野 勝也
笠井 雄一
村松 武人

議会運営 委員会

委員長
三神 貞雄

副委員長
市川 朝嗣

委員
川崎 充朗
内田 利明
松野 清貴
村松 武人
秋山 詔樹

請 願

◎採択 (全員 賛成)
教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願

請願人

市川三郷町PTA協議会
会長 渡邊 久

市川三郷町公立小中学校長会
会長 小林 一徳

市川三郷町公立小中学校教頭会
会長 二宮 洋

山梨県教職員組合峡南支部
東部班 班長 小林 靖彦

紹介議員

佐野 勝也
小川 好一



討 論

◆平成28年度一般会計補正予算

(反対) 一瀬 正 議員
市川保育所と富士見保育所を平成31年度に統合するための新しい園舎建設について、以下の点について疑問であり、反対する。

市川大門の一番低い場所に位置し、豪雨・洪水時には心配で、園児が集まる施設を建設するのは最適とはいえない。

(賛成) 佐野 勝也 議員
両園舎は老朽化しているため、統合を前提に今回設計委託料・土地購入費などの予算が計上された。

防災面での心配など色々な課題は、設計や運営方法など前向きに克服し、安全・安心な保育施設が整備されるよう期待している。

◆平成27年度一般会計・特別会計歳入歳出決算認定

(反対) 一瀬 正 議員
峡南医療センター企業団
医師・看護師の確保と通院の利便性

(賛成) 佐野 勝也 議員
峡南医療センター企業団
地域住民の信頼と医療・介護の拠点

など、診療体制の整備を強く求め反対する。

介護保険特別会計
入所者の自己負担の増額は、支払いが困難で入所を辞退したり、多額な自己負担が無理で施設利用を諦めた人もいる。国の政治のあり方に反対する。

後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
高齢者の医療費を無料に。年齢によって、医療サービスを差別する後期高齢者医療保険制度は廃止すべきだ。

として、良質の医療・介護の提供に必要不可欠な医療機関である。経営改善と安定化に努めている。

介護保険特別会計
介護予防を充実させる「市川三郷町包括ケアシステムの構築」に向けて地域包括支援センターを中心に鋭意努力している。

後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
高齢者の世代と現役世代の費用負担や財政運営を明確化し、均等割・所得割が処置されており、高齢者に必要な制度である。

(賛成14、反対1)

審議結果

◎第3回定例会 (9月2日～16日)		
条例の一部改正		結果
市川三郷町投票管理者等の報酬及び費用弁償条例中改正		可決 全会一致
補正予算		結果
平成28年度一般会計補正予算(第4号)		可決 賛成多数
平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		可決 全会一致
平成28年度介護保険特別会計補正予算(第2号)		可決 全会一致
平成28年度簡易水道特別会計補正予算(第3号)		可決 全会一致
平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		可決 全会一致
平成28年度歌舞伎文化公園管理特別会計補正予算(第2号)		可決 全会一致
平成28年度上水道事業会計補正予算(第2号)		可決 全会一致
平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)		可決 全会一致
認定		結果
平成27年度一般会計・特別会計歳入歳出決算認定		認定 賛成多数
平成27年度上水道事業会計決算認定		認定 全会一致
請願		結果
教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願		採択 全会一致
その他		結果
町道路線の認定		可決 全会一致
大同財産区管理会委員の選出につき同意を求める		同意 全会一致
教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出		可決 全会一致



議会傍聴にお出かけください

次回定例会は12月に予定されています。
傍聴の定員 本会議 30人 委員会 各8人

- ◆9月定例会の傍聴実績(のべ人数)
本会議 13人 委員会 3人
- ◆会議録検索システム利用件数
平成28年1月から9月まで 2,877件
*町のホームページから議会本会議の会議録が閲覧できます。検索機能もあり便利です。ぜひご利用ください。
- ◆お問い合わせ 議会事務局 TEL055-272-1108

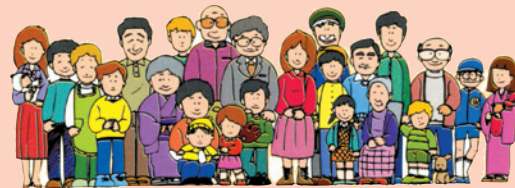
原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字詰め原稿用紙1枚以内、氏名(区名)・顔写真の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ：議会事務局 TEL055-272-1108

みんなのページ



やまほ学童クラブ



山保学童は山保地区公民館内にあります。
少人数規模ですが、元気の良い子ども達で毎日にぎやかです。

「ただいま～」と低学年から帰ってきます。1時間～1時間半後に高学年が帰ってきます。

時には全校一斉下校の日もあります。

手洗い、うがいを済ませると宿題に取りかかります。終わると皆でゲームや川渡り、鬼ごっこ、外でドッジボール、サッカーと元気よく遊び保護者のお迎えまでを過ごします。

夏休みは“ランチバイキング”で家庭からも食材を協力してもらい、指導員と保護者の方のお手伝いで調理して、隣接する保育園児をお招きして楽しいひと時を過ごしました。

園児と児童のふれあいも日頃からでき、有意義な時間を共有することができる空間だと思います。

これからもお互いに連携し地域の皆様に見守っていただき、子ども達の自立につながるよう支援していきたいです。

編集後記

♪村の鎮守の神様の、今日
はめでたいお祭り日、ドンド
ンヒヤラドンヒヤラ・ド
ンドンヒヤラドンヒヤラ
朝まで聞こえる笛太鼓♪

秋の収穫も無事終わり、村
びとが総出で豊作を祝う祭り
の様子が目に浮かぶ「村祭り」
の歌詞です。今年も余すところ
2ヶ月となりました。本年
4月には熊本での大震災が発
生し、未だ実家に帰れず避難
所生活が続いています。

8月からは台風による北海
道・岩手県での豪雨で、尊い
命が奪われてしまいました。
また、世界各国でテロ事件
が発生しています。

来年は事件・災害などが無
い一年間でありたいと思いま
す。

普段どおりに過ごせる生活
が一番平和であることを痛感
しました。
(記 小川)

議会広報編集特別委員会

委員長 高尾 貫
副委員長 佐野 勝也
委員 小川 好一
丹澤 孝

市川 朝嗣
川崎 充朗